



# 9.11をきっかけに元弁護士が10年の歳月をかけて考案 ブルックリン生まれの新感覚スケートボード

## 「Freerider Skatecycle」

スーパースポーツゼビオアリオ橋本店でイベント開催（2014年3月30日）

～スケートサイクルジャパンでは読者プレゼントとしてスケートサイクルをご提供します～

Freerider Skatecycle Japan（所在地：東京都千代田区）は、2014年3月30日（日）にスーパースポーツゼビオアリオ橋本店にて、スケートサイクルの無料試乗会を行います。

◇スーパースポーツゼビオアリオ橋本：神奈川県相模原市緑区大山町1-22 アリオ橋本2F

◇試乗会：開始11時～終了15時（予定）

◇参加無料・事前予約の必要ありません。

◇試乗会当日はスケートサイクルジャパンのライダーが乗り方のコツを教えます。

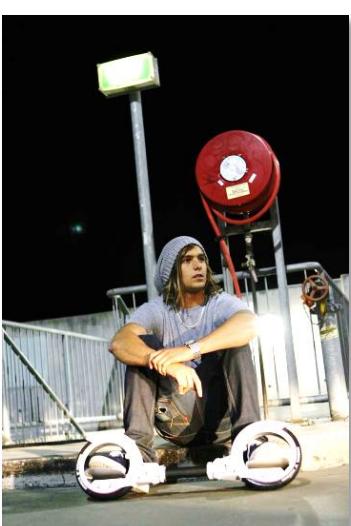
### ■Freerider Skatecycle

「フリーライダー・スケートサイクル」は、ニューヨーク・ブルックリンで生まれた新感覚スケートボードです。2つのタイヤを繋ぎ、そのタイヤの中にあるボードに足を載せて走る、新しいタイプのスポーツギアです。



「Freerider Skatecycle」  
(フリーライダー・スケートサイクル)  
価格：18,858円+税  
カラー：ホワイト、ブラック： サイズ(長さ)：760mm： サイズ(ホイール)：229mm： 重量：3.3kg

Youtube：<http://www.youtube.com/watch?v=TDNufcfCndU>



### ■元弁護士が考案した新感覚スケートボード

13年前の9月11日、当時弁護士であったアロン・カーフマンは、仕事のためアメリカン航空11便に乗る予定でした。予定が急遽変更となり、その飛行機への搭乗はキャンセルに。しかしその後、離陸したアメリカン航空11便は、ワールドトレードセンターに直撃し、ビルは崩壊しました。

アロンは9.11の事件をきっかけに自分の人生を見つめなおし、本当にやりたいことをやらなければならないと決心し、弁護士の仕事を辞め、高校の頃から構想していたオリジナルのスケートボード「フリーライダー・スケートサイクル」の製作に取りかかります。構造やデザインなどに少しづつ改良を加え、実に10年の歳月を費やし、ついに商品化を実現しました。

### ■フリーライダー・スケートサイクルの仕組み

ペアリングで回転する2つの車輪を1つのアームで繋ぎ、両足でクネクネと蛇のようにS字に動かすことで推進力が生まれ、助走をつけなくても自走することができます。平地でも自ら加速しながら乗ることができます。スケートボードのように地面を蹴って動力を得る必要がなく、静止状態からも自力で進むことができるのが特徴です。



日本のスノーボード人口が約400万人、サーフィン人口が約200万人、スケートボード人口は公式な発表はありませんが、スノーボード・サーフィンと同程度の愛好者がいると推測されます。

スケートサイクルは数百万人いると考えられる、スケートボードやスノーボードユーザーにピッタリの新感覚スケートボードです。

国際的なデザインコンペであるインターナショナル・デザイン・エクセレンス賞のブロンズ賞を獲得するなど、クールなデザインも魅力です。

製品詳細: <http://freeriderskatecycle.jp/index.html>

動画一覧:

<http://freeriderskatecycle.jp/freeriderskatecycle.jp/video.html>



オーリーや180も自由自在

ブラック

ホワイト



様々なスポーツシーンを応援するFreerider Skatecycle Japanでは、  
スケートサイクルを「読者プレゼント」としてご提供いたします。

商品貸出や専属ライダーなどの取材協力なども可能です。

詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください

【商品についてのお問合せ先】

Freerider Skatecycle Japan

TEL:03-5298-2650

<http://freeriderskatecycle.jp>

【報道関係者からのお問合せ先】

Freerider Skatecycle Japan(株E-LABO内)

担当:野村・鍵本

TEL:03-5298-2650 FAX:03-3256-1012

E-Mail [skatecycle@p-ground.com](mailto:skatecycle@p-ground.com)

東京都千代田区神田淡路町2-3-12